

# 医療ニーズ;使い勝手のいい体外照射用固定器具



医療ニーズ提案部門  
滋賀医科大学 附属病院 放射線部

「顔に優しい固定器具がほしい」

■放射線部ホームページ

[http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/departement/central\\_clinic/radiology\\_dep/index.html](http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/departement/central_clinic/radiology_dep/index.html)

## ■ニーズの背景

- 放射線治療を行うときは、病巣だけに放射線を当てたいため、可能な限り患者を動かないようにする必要がある。
- 顔を固定するために、シェルという固定器具を使うが、これを使用する過程で、患者さんにつらい思い(熱い、濡れるなど)をさせることがある。
- シェルを作る工程自体も煩雑で手間がかかる。

## ■現在の対応方法

- 患者さんに我慢してもらおう。
- お湯を用意したりと、煩雑な工程をこなす。

## ■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- 国内(2012年)放射線治療患者数  
推定新規患者数: 25,200人、推定実患者数: 213,000人  
出典: <http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000127460.pdf>

## 【イメージ・参考例】現状の固定具



## 機能アイデア例

- お湯を使わずに温風などを成型できる機能
- 短時間で成型できる機能、および素材
- 低温でも成型できる機能
- 直接、顔に当てずに成型できる機能

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: [hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp)